

## 同窓会報

No.72

編集発行

三重県立  
四日市高等学校  
同窓会四日市市茂福65  
TEL <059> 365-3631

印刷

㈱東海フォトデザインシステム



## 温故知新

同窓会副会長 青山 晶

(四高45年度卒)

とある真冬の昼下がり、ふだんは閑静な同窓会館が若々しく賑やかな雰囲気になりました。

というのも、きょうは年に1度の会館見学の日、列をなして、四日市高校の1年生たちがやってきているのです。彼らの目的は、会館2階にあるメモリアルギャラリーの展示を見ることにあります。これも授業の一環で、これから1年生全9クラスが、順次見学していきます。

ところで、同窓会館のメモリアルギャラリーですが、ご存じの方が多いと思いますが、四日市高校100周年を記念して、2001年9月にオープンした展示室です。ここには、二中、富中、四日市高女、北高女、そして四日市高校に至る、永い歴史のなかで残されてきた思い出の品々が展示されています。

少し年輩の方なら、100周年記念行事の先頭を切って、四日市市立博物館において催された「四日市高校100年の歩み展」を覚えておられるでしょう。当時、博物館の学芸員であった秦昌弘さんの資料収集をも含めたご尽力によって実現したものです。この展覧会は、1週間程度の期間でしたが、たいそう好

## 〈平成27年度総会のご案内〉

平成27年度総会を下記の通り開催いたします。会員の皆様におかれましては、お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

○日 時

平成27年6月6日(土)

13時30分受付/14時00分開会

○場 所

四日市市総合会館8階 視聴覚室

○記念講演（総会後）

〈講師〉

映画監督 瀬木直貴氏

(直樹、四高57年度卒)

〈演題〉

「創る」ひと・まち・映画

終了後 ・抽選会のあと記念撮影  
・喫茶室にてティー・パーティー（無料）

○付 記

- ・会費期限切れの方には、振込用紙を同封いたしました。会費納入にご協力下さい。
- ・講演につきましては、一般に公開しております。お知り合いで、ご興味のあります方には、ご案内下さい。

○問合せ

四日市高校同窓会館

TEL・FAX 059-365-3631

Eメール sikoukai@m2.cty-net.ne.jp



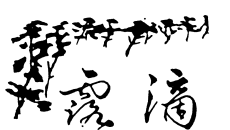
## 四高への思い

学校長 岩間知之

昨年4月、本校に着任した時のことです。校舎を周っていたら何とも懐かしい気持ちに包まれました。と申しますのも、初めて私が教員として教壇に立つたのがこの四高だったからです。昭和55年度の僅か1年間ですが、講師として全日制の国立文系クラスや通信制の日曜スクーリング、東洋紡績や加佐登分校での出張スクーリングで「政治経済」の授業を担当しました。難関大学進学をめざす生徒や私の父親以上の年齢の生徒、九州などから集団就職で来て昼夜二交代で働きながら学ぶ女学生、難病と闘いながら看護師さんと一緒に学ぶ院内生など、様々な生徒たちとの関わりの中で、自分の浅薄な教育観や人間観が鍛えられたと感じます。また、非常勤の講師なのに毎日遅くまで卓球部の部員たち

と体育館で汗を流したり、前のリスドールの2階で生徒とコーヒを飲んだりしたことなど、昨日のこのように覚えていいます。その後、長らく高校現場と教育行政で働きましたが、私の教員としての基盤はこの1年間の経験により培われたと思っています。その四高で再び生徒たちと語らうことができる喜びに感謝の気持ちで一杯です。

さて、その後30余年経過した今、社会のグローバル化が急ピッチで進行するなか、本校は平成26年度から5年間、国のスーパー・グローバル・ハイスクールに県内唯一指定され、将来のグローバル人材を育成すべく新しい教育活動に取り組んでいます。1月には、本校同窓会顧問の岡田卓也イオングループ名誉会長さまの力添えにより、インドネシアの高校生を四高生が首相官邸や在日大使館に迎え、その後相互に交流するという素晴らしい機会を得ることができました。また、土曜日の特別授業などでは、四高出身の大学教授にご講義願ったりとか、同窓生のみならずには物心両面から温かいご支援をいただいています。創立116年の伝統と卓越した諸先輩方に恵まれ、これからも、八稜星が輝くがごとく、世のため人のために活躍できる四高生を育みたいと考えています。どうぞ、よろしくご指導ください。ありがとうございました。



「クラブと勉学の両立」「質実剛健」の教育目標を掲げて、新制四日市高校は発足した。戦後のハンダリーの時代。▼毎

週月曜日の朝、全校集会が実施され、学校長、その他、生徒指導教師より四高生としての「矜持を持って」との訓話を厳しく説諭された。特に、柔道の西尾有賢先生、甲子園優勝時の野球部長池内定雄先生の剛柔とりまぜた説諭の巧妙さは筆者のみならず、卒業生諸氏ならば生涯忘れることなく脳裏に焼きついていくと思う。両先生のみならず全ての先生方も同調し四高生として、品位を保つための指導が徹底して行われ、地域社会、三重県内は勿論、全国的にも本校の存在が確証されていた。▼S・G・H（スーパーグローバル高校）として、三重県内で本校が指定され、全国的にも大いに期待されている。他に類を見ない本校の教育活動に期待したい。突飛な変わった活動の実施ではなく、本校創立以来の「クラブと勉学の両立」「質実剛健」をより深く徹底して追求、実施するのみだと思ふ。3年間の高校生活時間は短く限られている。指導する立場の教職員のバイタリティーに期待するのみである。バイタリティーのある指導者にはバイタリティーのある生徒は必ずついてくる。指導者が、グローバル人間でなければグローバルな生徒は育つてこない。先述した両先生は、本校をグローバル化させた先駆者だと思ふ。▼私事22年間、母校で教べんをとり、20年間同窓会役員としてお世話になり、本会報「露滴」に拙文を記してきましたが、次号より、青山晶副会長に執筆して頂きます。永い間、有難うございました。（鈴木田）





総 会

平成26年度総会は70名の出席を得て、6月1日（土）四日市総合会館にて、熊澤誠一郎会長の日頃の同窓会活動への協力のお礼と今後の協力へのお願い・一般財団法人四高会発足の報告で幕を開けました。

岩間校長からはSGHのご報告を頂き、グローバルな人材の要請に努力、世のため人のために尽くせるように大学や企業から講演や授業講師を派遣してもらい、外国との交流力を養うという方針をご説明いただきました。

その後坂倉副会長の司会にて、青山氏を議長に議事審議が行われ、続いて北川尚氏（四高61）による記念講演「リニア中央新幹線計画について」に傾聴



講 師 北川 氏



ティーパーティー

議 事

○第1号議案  
平成25年度事業報告

○第2号議案  
平成25年度収支決算

○第3号議案  
平成26年度事業計画

○第4号議案  
平成26年度予算

○第5号議案  
役員改選

以上において審議、承認の運びとなりました。

記念講演

今最も注目すべき2027年の東京―名古屋間の開通に向けて着工するリニア新幹線の概要の説明、特性をわかりやすくお話いただきました。

この計画は利便性の追求のみでなく、東海道新幹線の老朽化と地震等のリスク回避のための二重系という点を踏まえての面を持ち合わせていること、また消費電力の増加はあるがCO<sub>2</sub>排出量は飛行機より少ないこと、磁力の健康への影響については大丈夫であること等お話しいただきました。

最後に会長が東海への経済貢献への期待を述べられ、会は締めくくられました。

平成26年度 四日市高校同窓会総会報告

記念講演 北川 尚氏（四高61年度卒）

「リニア中央新幹線計画について」

平成26年6月7日  
四日市市総合会館  
8階 視聴覚室

| 新 役 員        |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|--------------|--|--------------|--|--------------|--|--------------|--|--------------|--|
| （役 員）        |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
| 会長           |  | 副会長          |  | 顧問           |  | 書記           |  | 會計           |  |
| 熊澤誠一郎（四高29）  |  | 西脇 壽郎（四高32）  |  | 辻 康之（四高教頭）   |  | 岡田 卓也（富中40）  |  | 小菅 弘正（富中42）  |  |
| 坂倉加代子（四高32）  |  | 伊藤 勘作（四高35）  |  | 鈴木田俊二（四高28）  |  | 森田三重子（四女42）  |  | 岩間 知之（四高校長）  |  |
| 中島 泰浩（四高36）  |  | 杉本 雅俊（四高42）  |  | 富田 常豊（四高42）  |  | 小林 典子（四高51）  |  | 佐久間 基（四高日10） |  |
| 青山 晶（四高45）   |  | 辻 康之（四高教頭）   |  | 大森 智之（四高職員）  |  | 奈須 庄平（四高37）  |  | 藤原 和彦（四高54）  |  |
| 辻 康之（四高教頭）   |  | 岡田 卓也（富中40）  |  | 小菅 弘正（富中42）  |  | 森田三重子（四女42）  |  | 鈴木田俊二（四高28）  |  |
| 鈴木田俊二（四高28）  |  | 岩間 知之（四高校長）  |  | 富田 常豊（四高42）  |  | 小林 典子（四高51）  |  | 佐久間 基（四高日10） |  |
| 岩間 知之（四高校長）  |  | 富田 常豊（四高42）  |  | 小林 典子（四高51）  |  | 佐久間 基（四高日10） |  | 大森 智之（四高職員）  |  |
| 富田 常豊（四高42）  |  | 小林 典子（四高51）  |  | 佐久間 基（四高日10） |  | 大森 智之（四高職員）  |  | 奈須 庄平（四高37）  |  |
| 小林 典子（四高51）  |  | 佐久間 基（四高日10） |  | 大森 智之（四高職員）  |  | 奈須 庄平（四高37）  |  | 藤原 和彦（四高54）  |  |
| 佐久間 基（四高日10） |  | 大森 智之（四高職員）  |  | 奈須 庄平（四高37）  |  | 藤原 和彦（四高54）  |  |              |  |
| 大森 智之（四高職員）  |  | 奈須 庄平（四高37）  |  | 藤原 和彦（四高54）  |  |              |  |              |  |
| 奈須 庄平（四高37）  |  | 藤原 和彦（四高54）  |  |              |  |              |  |              |  |
| 藤原 和彦（四高54）  |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |
|              |  |              |  |              |  |              |  |              |  |



## 会費納入の お願い

同窓会の事業はすべて会費により運営されています。会報の送付なども、財政上の理由から会費を納めた方だけに限らせていただいております。納入がまだお済みでない場合には、是非お早めにお願ひ申し上げます。

○納入金額  
終身会費 20,000円  
毎年納入の場合 年会費1,000円

○納入方法  
①郵便振替  
口座番号00820-8-6367  
三重県立四日市高校同窓会  
※専用の振込用紙があります  
のでご連絡下されば送付いたします。  
また同窓会HPよりダウンロードも可能です。  
②現金書留  
会館迄ご送金下さい。

《お問い合わせは》  
四日市高校同窓会館まで電話・メールにてご連絡下さい。

## 第6回

# 銀城親睦ゴルフ大会 盛大に開催される

去る11月6日（木）、秋晴れの下、恒例の第6回銀城親睦ゴルフ大会が74名のご参加により、四日市カンツリークラブで盛大に開催されました。プレー終了後、クラブ2階のコンペルームで熊澤誠一郎会長のご挨拶に続き、男女別に表彰が行われました。

なお、優勝者は次の方々でした。

女子の部・川村智子さん  
(55+52=28.8=78.2)

男子の部・生川博さん  
(44+43=15.6=71.4)



懇親会風景



女性参加者と熊澤会長

## 平成26年度 総会記念写真



富中・四女・北女・四高25～29年度卒業生



四高30～39年度卒業生



四高40年度以降卒業生

## 平成26年度会費納入者

(敬称略)

### ○終身会費（2万円）

池田紗恵、石田温香、一見奈々江、大西真央、柏木麻佑、勝山瑤介、加藤香奈実、加藤千博、加藤真里菜、加藤亮太、川瀬真里那、北村栞、木原梓、五藤咲蓉子、小林令奈、小室美理、坂井和菜、鷺坂夕季、櫻井祐奈、佐藤功将、畠田加菜子、下倉未果子、田中嘉之助、永井遥、中西将也、夏井陸、服部雅子、日置翔大、藤村衛、前川真希、水谷あつ子、溝端公介、宮崎紗耶加、三好悠加、茂木勇樹、山下智矢、吉田美侑、朝倉彩葉、新井雄真、荒木理沙、石田優衣、石野美久、伊藤結香、井上弘貴、上田莉央、内田樹里、内田千裕、梅田恵、裏川美緒、大橋佳歩、寒河江志帆、坂倉伽奈、篠田美月、嶋田朱莉、曾我妃佳里、高橋美優、竹下円、出口航平、中村朱里、難波美緒、日置望賀、東出拓哉、福井秀、藤井郷恵、藤塚美樹、堀内香菜、前田果南、松本侑真、宮原由衣、明先風花、森脇優、八島楓、山内遥香、山岸恵理子、山口彩奈、秋田智宏、石田明日香、稲垣大輝、稲垣陽介、井上瑞稀、岡松志野、勝田啓太、加藤舞、金森さくら、木村真夕、栗野真衣、小塚みず希、小室遥、佐藤百香、佐藤悠登、佐野仁美、佐元志帆、下田遊作、園田咲、田中沙良、戸谷奈那美、中川裕基、長澤美友、野呂泰葉、長谷川文哉、早川まりあ、林さわ子、古野詩織、保条朋秀、堀未央子、前田百合香、松丸大豪、築川樹、山口郷彬、渡邊大貴、石川英明、伊藤航平、伊藤みなみ、岩間梨奈、奥平孝太、葛山

希、加藤有真、加納大地、川口大貴、河村樹、小寺奎佑、後藤信介、今野光梨、榎原伊織、下濱悠里衣、巽翔子、田中郁也、田中雄也、坪井俊樹、富田彩香、長澤由莉、中野真紀子、南部清夏、長谷川沙紀、羽場彩華、平塚聖奈、廣田智子、藤田知佳子、本郷昭典、三品匡央、水谷怜貴、水野一行、森晴菜子、矢田佳子、山下雄大、山田麻友、弓矢健一郎、吉田充志、李錦仙、青木千純、青山真莉瑛、安藤しおり、石田秀征、伊藤愛、伊藤孝太、伊藤史也、今村圭吾、井村朱里、岩永周子、内田沙羅、大西彩花、加藤佑弥、木場優太、久野圭太、黒宮一輝、小谷真由、小林愛実、小林剛史、西條由華、先田有梨亜、佐藤美貴也、沢田龍、鈴木恭介、鈴木美佑、首藤駿到、生川裕己、野見山あずみ、蜂矢怜奈、春井理沙、藤田優、堀山あい、前川史典、松岡航平、水谷希望、水谷有里、宮本朋佳、山田菜摘、大和礼奈、渡部さや、栗飯原頌、荒木八雲、篠井勇斗、石田京香、伊藤渥一、伊藤幹人、井上茜、今村優作、江頭里佳、太田響、大西春楓、鹿島勇紀、片山康二朗、葛西彩奈、加藤佑基、金山慶大、鬼頭鉄也、木村亮太、吹田雄大、末藤涉太郎、杉本将武、世古千尋、立原大輝、田中美有、田中遼、辻佑紀美、寺澤正恭、椋尾明尚、豊田環、名越万希也、野崎信駆、前田遼太郎、松井芳樹、松岡雄地、矢田喜大、山下昂輝、山下太地、山中信太郎、米岡彩加、家元歩惟、伊藤公哉、伊藤成美、井上日向子、内田知将、遠藤和穂、大橋勇介、尾宮哲也、紙島大輝、神谷健太、川口拓洋、川村泰喜、木全俊輔、倉田大輝、後藤雅登、小原大和、小見山大輝、佐藤優

季、斯波皓介、島田弥力、鈴木ちひろ、滝本浩之、竹内明佳、田中小華、中条雅貴、出口直樹、富澤雄太、富田純、萩原秀一、長谷川瑛、秦竜平、増田侑馬、松永晴生、宮崎桃花、村上絵吏子、山路湧聖、山本靖樹、吉田あすみ、渡邊聖矢、池田昂生、伊藤光心、伊藤涼音、伊藤悠一郎、伊藤有毅、伊藤里沙子、岩田稜平、宇野智裕、奥野翔太、尾関康介、川口皓幹、清利紘子、香西竣太、齋藤慎平、佐藤郁弥、杉谷慶、高原涼佑、竹田光有貴、露口陽平、東條晃己、外山祐也、鳥山夏海、中川賢人、西脇理巧、羽生田磨登、濱地祐矢、伴野航平、樋口圭太、三嶋洋介、水谷駿介、水野友貴、光本皓平、三輪真弓、森敬之、森裕介、山崎航希、山田晃三郎、吉澤誉人、青木孝紘、伊藤茜、稲葉智哉、井下紀子、小澤拓海、陰地康太、加藤孝祐、加藤駿、黒田杏子、駒田紗椰香、近藤快、佐藤穂香、篠田真里、鈴木伊緒里、鈴木俊太、鈴木田英里、鈴木田万里、辻真奈美、戸田汐音、中尾公香、永島康平、中田理沙、中前菜奈、成田明日香、西川明里、野呂大貴、秦なぎさ、水谷柊輔、村元鈴路、吉満優希、若林成人、川島弥、栗原廣海、中畑裕之、伊藤徳、恒川清明、宮木芳尚、山中庸彦、中嶋恵子、北川尚

(平成26年12月現在)

○5年会費（5千円） 1名

○2年会費（2千円） 2名

○1年会費（千円） 156名

会員の皆様、誠にありがとうございました。







## 富中三八会回顧

館 守信

（富中38回卒）

私達は戦時色濃い昭和16年に、富中38回生として卒業した。教練に用いた三八式歩兵銃にちなんでかクラス会の名を「富中三八会」と名付けた。

2年生の時に支那事変が、卒業の年に大東亜戦争が勃発した。入学直後に宮地校長作詩の校歌が初めて制定され、又一年上級生から制服が国防色に変わった。

在学中に久居連隊一泊研修や、鈴鹿海軍航空隊、又修学旅行での海軍兵学校の見学など一貫して軍事主義教育を受けた。

同級生133名の殆どが兵役に就き、7名の特攻死を含め22名が戦没、3名がソ連に抑留された。

同級生も既に90歳を超え、平成26年末では生存者が19名のみとなった。

しかし今でも年3回クラス会を開いているのが自慢の一つである。

「大正三桁、無芸大食、女にモテず、仕事の鬼」と言われ乍ら、戦後の復興、国の繁栄に広い分野で精魂を込めて活躍し続けて来た。

退職後に培った広い分野での趣味を発表する「私達の趣味の作品展」を、平成5年・10年・11年の3回市の文化会館で開き、20数名の友がそれぞれの作品を展示し、大変盛況だった。

平成7年には12名が知覧特攻記念館・鹿屋航空基地史料館を尋ね、戦没級友の霊を弔った。

平成4年には、四高同窓会館に植樹、又平成25年には同館を訪ね、在学当時を回顧すると共に、四高が全国野球大会で優勝した時の監督、同級生水谷貞雄君を偲んだ。

私達はいつもクラス会で、在学中の思い出や、恩師・級友の事など語り合い、富中に学んだ誇りと感謝の念を胸に、富中三八会を生き甲斐として元気に頑張りを続けるよう誓い合っている。



## 「四高二五年会同窓会」

自画自讃の記

島村 隆

（四高25年度卒）

（1）戦後、新制高校は「統廃合」「再配置」「独立」という段階を経て誕生した。既刊の「校史」によれば、われわれ昭和25年度卒業の同窓生は、まさに「独立四日市高校の第一回卒業生」と表現されている。男子生徒はその殆どが終戦直前の昭和20年4月旧制富田中学校に、女子生徒も同様に、旧制四日市高女、四日市北高女へ入学し、在学3年を経て改めて受験することなく引き続いて四日市高へ進学、男女共学の3年間を経て晴れて卒業することとなった。

（2）戦後のきびしい世相の中にあって通じて6年間、助け合い励まし合って生き抜いた仲間意識が、「四高二五年会同窓会」の結束を必然的に強固なものにしたのだと認識している。

（1）昭和26年3月四高卒業後は、有志相寄り随所で親交を深める行事等が行われていたが、昭和43年3月有志の発案により四高校内で本格的な同窓会会合が催され200名の仲間が集うこととなった（詳細不詳）。

（2）このような同窓会組織結成の気運が盛りあがるなか、ようやくにして昭和57年8月8日、四日市内のホテルに240名の仲間が結集して、「第一回四高二五年会同窓会」が開催されるに至った。初代会長に牧野達美君が選出され、副会長、書記、会計、各組幹事等の体制が正式に発足した。その後、二代目会長に小野重夫君、三代目

竹村二郎君、四代目荒木行雄君と続いた。

（3）なかでも、20年間会長職を勤めすばらしいリーダーシップを発揮した小野重夫君、さらには、同窓会結成の前段階から現在に至る長期間、実質的に運営に携わった事務局長の濱野實君に対しては、同窓生一同がその献身的な活躍に感謝し敬意を表しているのであります。

三 具体的な同窓会としての活動実績等を列挙すれば

（1）会結成後2年毎に開催した総会、その後のにぎやかな懇親会。その結果などをとりまとめた内容豊富な会報は最終15号まで発行された。多くの会員からの投稿に加え、有志会員から広告掲載料拠出などの支援も続いた。

（2）想い出深い一泊親睦旅行の実施。とりわけ、平成4年の北陸路へのお座敷列車による還暦記念修学旅行、平成14年の観光バスによる富士山麓・昇仙峡めぐりの古稀記念旅行、平成16年の玉造温泉旅行などは多くの参加者で特に盛りあがった。

（3）「サークル活動で豊かな人生を」のキャッチフレーズで結成された5つのグループには、趣味を基本として多くの会員が参加した。

○長い間定期的に続いたゴルフコンペ「ゴルフクラブ」。

○11号に及ぶ会誌「春風」を継続発行した「文芸クラブ」。

○県外の近隣観光地めぐりで楽しんだ小旅行「旅クラブ」。

○今なお活動が続いている「カラオケ」と「室内競技」の2つのクラブ。

（4）このほか全国各地で活躍している同窓生は、それぞれの居住地域において、「関東地区同窓会」「名古屋地区親睦会」「関西同期会」なる名を冠して同級生同窓会を結成し、随時多くの有志が集い楽しいひと時を過ごしている。

四（1）さて、四日市市を本拠として組織化し、親睦活動を展開してきたわれらが「四高二五年会同窓会」は、平成24年11月29日四日市内のホテルで開催した最終回総会をもって（残念ながら）解散しました。全国から会員130名が参集し、別れにふさわしくないにぎやかさで盛りあがった解散式でした。

（2）わが同窓生もすでに「後期高齢者集団」となり、歴代4人の会長も他界してしまいました。やむを得ない自然の流れと受けとめながらも、サークル活動の多くは余韻として残っています。

五 こんな強固な団結のもと、輝かしい足跡を残したわが同窓会に誇りをもって自讃したいと思ひます。

ところで、年明け早々「カラオケクラブ」の新年宴会が四日市内で開催されます。是非とも参加して下手な演歌でも唄ってみようかと、今から楽しみにしております。



## 勉強、勉強したかった

岩間 昌

（四女43回卒）

昭和21年3月追分町の陸軍製絨所の寮の引き出しをひっくり返した机で半年ぐらい勉強をしただけで卒業したのが私たちの年代です。生まれて間もなく満州事変が始まり、日華事変、太平洋戦争と動乱の中で生き、「欲しがりません。勝つまでは」を合言葉に何もかも不足がちな毎日でした。小学校高学年になると、出征兵士の留守宅へ手伝いに行き、田の草取りは蛭に足を吸いつかれ、夜になると痒くてゴリゴリ掻いたのを思い出します。

四日市高女に進学しても勉強らしい勉強ができたのは2年生までで、3年生になると学徒動員のため

め東海ゴムで航空機の防弾タンク作りをしました。空襲警報で防空壕に逃げ込み、誰かが書店で買ってきた「蛭雪時代」の廻し読みなどをしていました。

昭和20年7月敵機一機が来てたのに横着にひとり家で読書していると、近くに爆弾が落ち3人の人が亡くなりました。私はうつ伏せになってかろうじて爆弾の破片をよけることができたのでした。

戦後の生活は、さらにひどく食べるものもなく、みじめな生活が続きました。職を解かれ田舎に帰った父母は、四日市での水道水を使い石炭で風呂を沸かしていた生活から、つるべ井戸になり、山の

往 来





## カリフォルニアより

稲垣良一

（四高平成10年度卒）

昨夏より海外留学の機会に恵まれ、カリフォルニア南部のアーバインという街で2014年の年の瀬を迎えました。大学進学を機に四日市から離れて以降、年末年始に必ず帰省していた私にとっては、故郷で迎えない年末にさやかな違和感を感じていたところ、南カリフォルニアを記録的な寒波が見舞い、頬をさす冷たい風に故郷の鈴鹿おろしを思い出しました。

四高在学中の思い出は、修学旅行や四高祭といった学校行事以外にも、高校生クイズや仮装大賞への参加、関ヶ原までの自

転車日帰り旅行……と数えたら

きりがありません。何よりも、

これらを共に体験してきた個性

的な友人達と四高で出会えたこ

とは、今日に至るまでのかけが

えの無い財産です。学生時代は

受験に向けて切磋琢磨しあう仲

でしたが、卒業後は仕事や家族

の話で新たな刺激をもたらして

くれます。

そんな友人達の中には、一足

先に海外生活を経験している友

人もおり、彼らの体験談を思い

出しながら、私もどうにか海外

生活を送っています。カリフォ

ルニアには世界中から人が集ま

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る



## 健やかな長寿を

一色啓二

（通信制平成2年度卒）

大相撲では現在、幕内にモンゴル出身の横綱3人を含む、16人の外国勢力士が占めている。国際化したと言えどもそれまでだが、相撲は「国技」と心得ている者にとっては、少し寂しい気がするのではないかな。

しかしながら、スポーツ界を見渡せばオリンピックで、レスリング・バレーボール・体操・水泳等外国発祥の種目で、日本人選手が、数多くのメダルを獲得する成績を収めている。今やスポーツに国境はないようで、それだけ日本人の体位が向上し

たと思えば、喜ばしいことでも

ある。

厚生労働省の発表によると、

2013年の日本人平均寿命は

女性86・61歳、男性80・21歳で、

いずれも過去最高を更新し、女

性は2年連続で長寿世界一とな

った。

ところが、長寿のニユースを

単独に喜べる時代ではない。憂

えるべきは、介護などを必要と

しない生存期間を示す「健康寿

命」との差だ。2014年版厚

生労働白書によれば、男女とも

10年ほどの開きがあるようだ。

る

る

る

# 人物



## 伝統文化でお役に立てる幸せ

西川里寿（水野寿美）

（四高31年度卒）

先日、思いがけなく四日市高校の生徒がティーンエイジ・アンバサダーとして東京・四日市・ジャカルタで国際交流を行うため、是非日本舞踊を教えていただきたいというご依頼がありました。一か月間と限られた日数で、最高の仕上がりにするのは、何者もオープンに受け入れるカリフォルニアの風土には、日本が将来避けては通れないグローバル社会の一端を垣間見ているように感じます。こちらの経験を経て帰国後に広く社会に還元できるように、より一層の研鑽に努めたい所存です。

## 優勝を目指して

長谷川 智章（旧姓：田中）

（四高平成8年度卒）

現役当時、サッカー部に所属

した私が最も思い出に残ってい

るのは毎年正月前後にテレビ放

映される全国高校サッカー選手

権大会。高校サッカー経験者で

あれば誰しも憧れを抱く大会で

す。その大会に出場するため三

重県予選で優勝を目指して戦い

ましたが、1年生時は県ベスト

8、2年生時は3回戦敗退。現

実は非常に厳しいものでした

が、チームとして一つの目標に

向かって取り組むことの大切さ

を、身をもって学ばせてもら

った。

る

る

たのも記憶に新しいところで、その理由として、TV・ネット等の情報メディアの普及によって、世界中の価値観が似通ってきていることが挙げられると思います。欧米で美しいとされるものが、異なる文化や歴史を持つ国でも美しいとされるようになってきているのではないのでしょうか。私は、美しさというものは様々あり、変化するものと考えておりますので、一つの価値観だけにとらわれてしまふのは非常に残念であります。そのような現代にあつて日本独自の文化がいかに素晴らしいかを伝承していきたいと思っております。今回、日本の伝統芸能に取り組んでいただけることをなにより嬉しく思うとともに、生徒の皆さんが日本と世界の文化交流の架け橋となることを心から願っています。

そのままに、相変わらず優勝を目指して頑張っています。

仕事の関係で同期全員揃うこ

とが年々難しくなっています

が、高校3年間を同じ部活動で

共有したことによって結ばれた

絆は失われることなく、今でも、

そしてこれからもさらに強くな

っていくと思います。

末尾になりましたがOBを温

かく迎え入れてくれるサッカー

部顧問の先生、生徒の皆様、学

校関係者の皆様に感謝を申し上

げるとともに、今年の夏こそは、

優勝カップをいただくことを宣

言して結びとしたいと思います。

母校よ、今後ますますお

願いします。

る

る

る

る

る

る

る



リレー随想

〈第18回〉

犬がいた日々

伊吹有喜（四高61年度卒）



三十年ほど前の春のことだ。

四日市高校への進学が決まり、入学説明会に来たら、中庭で犬が寝ていた。茶色っぽいムクムクした毛の犬で、眠っているのか倒れているのか判別つかないほどに、ゆるみきった寝相だ。

野良犬だろうかと思つめたら、その犬はムクリと立ち上がり、「ハオーン」とあくびのような声を発して、校舎に入ってしまった。

大胆な野良犬だと思ったが、そのときはすぐに忘れた。しかし入学式の日、渡り廊下にさしかかったら、あの犬が歩いてきて、ごく自然にすれ違っていった。しかもその数日後、上級生の教室のうしろで悠然と寝そべっているのを目撃した。まわりの生徒たちは驚くことも追いかけることもなく、当たり前のように犬とともにいる。

幻でも見てるのだろうか。そう思ったが、一学年上に姉がいるという同級生の話では、その犬はコウシロウと言い、この学校で暮らしているのだという。別の人に聞いた話では、数年前、まだ子犬だった頃に校内に迷い込み、衰弱していたところを生徒が手当てをし、当時の生徒会の働きかけや、先生方のご助力もあり、四高にいられるようになったそうだ。コウシロウという名は、そのとき尽力した生徒会長の名前にちなんだものらしい。

このコウシロウは幼犬の頃、生徒の上履きをくわえて、どこかに隠してしまうという困った癖を持っていたそうだ。しかしそれに苦情を言うと、犬が学校にいらなくなる。そこで先輩たちはじっと耐え、歴代の生徒会執行部は上履きをくわえたコウシロウを追いかけていた……というのが、私が聞いた都市伝説ならぬ学校伝説だった。

私が入学したときコウシロウは老犬の域に入り、いつも穏やかだった。そして在校中に天寿を全うしていった。

あの時点ですでに伝聞の域だったし、私の記憶も曖昧で、ひょっとしたら名前や、飼われることになったいきさつなどは違っているかもしれない。しかし高校時代を思い出すと、恩師や友人の姿の向こうに犬がいる。そして生徒だけではなく、先生や職員の方々のなかにも気にかけていた人がいらしたから、あの犬は幸せそうに暮らしていたのだと思うと、とても温かい気持ちになる。

先日、青春時代の思い出を聞かれ、学校に犬がいたという話をしたら驚かれた。そしてその話を書いてみないかと勧められた。今のところ形にはなっていないけれど、もし作品にするのなら、犬がいた日々を思い出すたびに浮かぶ温かい気持ちを大切に書いていこうと思う。（了）



伊吹さんの近著

編集部から

「コーシロー」、当時の姿を知る諸氏には懐かしさ溢れる響きかと思えます。昭和60年7月14日付朝日新聞「風のうた」に以下の記事を見つけました。今も校庭の一角にコーシローは眠ります。

その日、三重県下は梅雨時特有の雨に見舞われた。四日市市富田、県立四日市高校の校庭の片隅に建てられた大理石の墓の前で、生徒たちのすすり泣きもれ、その姿に先生たちも思わずもらい泣きした。墓標に「コーシローここに眠る」とあった。

「コーシロー」は茶色の雑種犬。12年前の夏、ひょっこり同校に迷い込み、当時用務員だった西庄吉さんになつてそのまゝ住みついた。「とてもちゃめっ気のある犬だね。男子生徒にひょうきん者がいて、その名をもじって『コーシロー』という名をつけた」といわれ、以来生徒のアイドルの存在に。

ソフトボールの球を生徒といっしょに追いかけたり、昼には先生や生徒の弁当を少し分けてもらったり。授業中、窓か



らふと校庭に目をやるとコーシローの闊歩する姿に何となくホッとした気分になった生徒も多かった。自由にのびのびと生きたコーシローが、進学校である同校の心のゆとりのシンボルでもあった。以下略

四高星稜会とともに



小林 源太郎

（四高49年度卒）

私が四高を卒業して今年で40年になる。卓球部に所属し、毎日の部活動と勉強の両立に悩みながらの高校生活であった。

当時の四高生の大半がそうであつたように、私も2年生の夏のインターハイ県予選が終わると受験準備を口実に部活動をやめたが、勉強にそう専念できるわけがなく、どちらも中途半端になつてしまい、どうして3年生まで部活動を続けなかったのかと今でも後悔している。

つた懇親会と卓球大会（昭和30年代に顧問をされた先生の名に因んで「森下杯」という）には遠く関東、関西からも参加頂き、旧交を温めている。

そんな私が2年前から四高卓球部OB会である星稜会の事務局をさせて頂いている。このOB会の集まりは、平成11年の四高100周年を機に組織的に始まり、毎年4月の恒例行事とな

本年度の卓球大会には4月に赴任されたばかりの岩間校長先生にも忙しい中、出席して頂いた。（岩間校長は津高卓球部で活躍され、昭和48年に三重県で開催された全国高校総体に県代表選手として出場されている。）そして、5月には星稜会OB有志数人で四高体育館を訪れ、現役の卓球部の皆さんの練習に加わり楽しいひとときを過ごさせて頂いた。今は女子の部員が少ないのが気になったが、男子には東海大会出場を果たした生



森下杯（四高卓球部OB会卓球大会）H26.4.13（四日市・あさけプラザ）

徒もおり今後が楽しみである。最後に、卓球部を始め四高の運動部の皆さんが校是である「文武両道」を目指し、充実した学校生活を送られるとともにOBの皆様が各方面で益々活躍されますことを祈念します。



# 学園だより

## 成長した3年間

3年4組 佐竹 颯 太



私は四日市高校で情熱あふれる先生方や向上心のある仲間と共に充実した3年間を過ごして、心身共に成長することができました。

私はラグビー部に所属していました。まだ入部して間もない時に先輩の最後の大会に出場しましたが、足を引っ張ってしまって、悔しい思いをしました。自分に足りていないものは技術と体格だと思い、練習に励みました。しかし、ミーティングを重ねるうちに、一番足りていないものは一つ一つのプレーに対する勇気や、勝ちたいという気持ちなどの精神的な部分であることに気づきました。体の大きい相手に当たるのを恐れている自分が情けないと思い、恐れがなくなるまで体をぶつけました。それに伴い技術も向上しました。隣で頑張っているチームメイトを見て負けたくないという思いで練習しました。私はラグビーを通じて向上心を持つことの大切さを学びました。

また、勉強の場では友達と成績を競いながら切磋琢磨したことにより自分を成長させてくれました。友達がいい成績を残したら、自分も頑張ろうと思うことができました。そんなライバルでもある友達は分からないことがあるときに質問すると、時間を割いてでも丁寧に教えてくれました。仲間の存在の大きさを知り、感謝の心を学びました。

3年間を支えてくださったすべての人に感謝をし、卒業後さらに成長した姿をみせられるように、四日市高校で学んだ、向上心や感謝を胸に刻んで頑張りたいと思います。

## 「科学の甲子園」出場に向けて

SSH科学部部長 2年 丹羽 英 人

私たちは、昨年11月1日、三重県総合教育センターにおいて行われた、平成26年度三重県高等学校科学オリンピック大会にSSH科学部2年生6名、SSH生物部1年生2名による合同チーム（チーム名：八稜星）で参加しました。

この大会は、筆記競技と実技競技で競います。筆記競技では、物理・化学・生物・数学・地学・情報の計6科目の理論の問題を記述式で解きました。日頃の学校生活では出てこない内容のものもあり、主に科学的思考力が問われる問題でした。部活動の時間において、科学の甲子園の過去問を解くなどの対策をしていたので、難儀な問題にも簡単に解くことができました。

実技競技では、授業での学習をベースにした内容を題材に、物理・化学・生物・地学の観察・実験を行う問題に取り組みました。実験に対する自分たちの経験不足や不手際によって思い通りにいかないところもありましたが、楽しくやり切れたと思います。

全国大会である、科学の甲子園は茨城県つくば市において、3月20日～23日の4日間行われる予定です。昨年度は三重県立伊勢高校が優勝し、米国で開催された世界大会に出場しました。

私達も、今から全国大会まで、実技競技を中心にしっかりと対策を練り、三重県代表としてよい結果を残せるよう全力を尽くしていきたいと思っていますので、応援よろしくお願いします。



## 四高から世界へ！ ～SGHの取組を通して～

教頭 辻 康 之

本年度、本校は全国56校の「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の一角に指定されました。SGHはグローバル化が加速する現代社会において、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成をめざすものです。本校は、三重大学・早稲田大学・日本医科大学等の高等教育機関やグローバルに事業展開を進めている企業等と連携して、新しい教育活動を展開しています。具体的には、大テーマ「三重・四日市発グローバル課題への提言」を掲げ、次の五つの取組を実践しています。①総合的な学習の時間を活用して、各自がグローバル課題について研究を進め、論文を作成する「グローバル・マインド」、②土曜日に学校設定科目を開設し、大学教授・企業の方等（のべ42名）の指導を受け、課題探求を深化させる「グローバル・リーダー学」③地域に向けた提案型プレゼンテーション、大学留学生や海外の高校生との交流、海外フィールドワーク等の実施 ④外国人講師により、課題研究の小テーマについて、英語でプレゼンテーションや討論を行う「白熱英語講座」⑤市民性・社会性について、効果測定の尺度を開発する取組の五項目です。さて、今年度

の海外フィールドワーク先はインドネシアとカンボジアです。前者は、イオン1%クラブ「ティーンエイジ・アンバサダー事業」によるもので、1月12日から来日したインドネシア・ラブスクールジャカルタ高校生と、13日に首相官邸やインドネシア大使館を表敬訪問しました。大使館では岸田外務大臣をはじめとする方々からご講話をいただいた後、両国の伝統的なパフォーマンス（四高生は日本舞踊2曲）を披露しました。さらに本校の大先輩である岡田卓也イオングループ名誉会長、岡田元也社長との歓談や記念撮影など有意義な時間を過ごすことができました。また、1月16日にはインドネシア高校生を本校に迎え、歓迎会・授業・部活動、四高生の家庭でのホームステイ等を楽しみました。3月には本校の当該生徒20名がインドネシアを訪れます。また、後者は、3月に四高が独自に企画するカンボジア派遣事業（3/17～3/22）で、22名の生徒が海を渡ります。この事業では、JICA事務所、クラタペッパー（企業）、トゥールスレン虐殺博物館、青年海外協力隊員の活動、王立法経大学、カンボジア日本友好学園、北原国際病院、国立博物館等を訪問し、課題研究や交流活動を行う予定です。これらのプログラムを通して得られる貴重な体験を通して、多くのグローバルリーダーが育ち、世界で大いに活躍することを期待しています。



首相官邸表敬訪問

編集後記  
稿の中の一言に触発されて遥か高校時代に思いを馳せた今冬。時の重なりはなくとも、青春の時に窓から眺めた景色は同じであると実感します。  
(小林)

三重県立四日市高等学校同窓会  
公式ホームページ

<http://www.pcs.ne.jp/~shiko/>



# 同窓生交歓



富中第41回会 H26.6.15（四日市都ホテル）



S38年度3年5組クラス会 H26.10.27~28（湯本富士屋ホテル）



富中三八会 H26.9.9（四日市・たまゆら）



北海道富中・四高会 H26.6.18（札幌すすきの川基本店）



四高第二回・富中第四十六回同級会 H26.9.27（四日市都ホテル）



星稜会（四高卓球部OB会） H26.4.12（四日市・たまゆら）



通信制親睦旅行 H26.6.1（相可高校まごの店）



四高45年度卒業同期会 H26.8.15（プラトンホテル四日市）